

子供の古着を 世界で唯一のアート作品に――。

株式会社 shiroiusagi company

秋田発のユニークなビジネスは、
「コンテスト」という機会を経て、飛躍を続ける。

思い出いっぱいの子供服、なんとかしたい！

着られなくなった子供の服を再利用して、世界でたった1つのアート作品や知育玩具を作る。そんなユニークな企業が昨年9月に立ち上がった。「子供はどんどん成長するから、着られなくなった服を全てとっておくには限界がある。だから古着の多くは、捨てるか、リサイクルに出すか、誰かにあげるか。しかし、我が子が身につけた服は、子育ての思い出や子供への思いが染み込んでいる。手放すのが忍びない服もある。そこで考えたのが古着の“手放さないリサイクル”。古着を布材料に作品を作り、家族の思い出として残してあげたい」と株式会社shiroiusagi companyの木村紹子代表。親心や家族愛を大切にしたいとの思いからこのビジネスは誕生した。

経験とアイデアからビジネスプランを構築

かつて子供服のブランドショップを経営していた木村代表。高級ブランド服が飛ぶように売れた時代だった。その後、社会でリサイクル運動が盛んになったことを受け、子供服のリサイクルショップやオークション出品代行業を営んできた。その過程で「子供の思い出が染み込んだ服を、何百円、何十円で売ってしまうのはもったいない。なんとか別の活用方法はないのか」との思いが浮かんだ。自身も母親であり、親心が痛いほど分かる。考えに考え、「子供の古着をアート作品に仕上げ、世界で唯一の宝物に」とアイデアを練り上げた。

県内での起業・創業意識の醸成と獨創性のあるビジネスプランを持つ起業家を発掘し、確実な起業へ結びつけることで県経済の活性化を図ることを目的としています。

【お問い合わせ】

あきた企業活性化センター/
企画・総合相談担当(018-860-5610)まで。



「家族」をテーマにさまざまなアート作品を作っている。写真左奥は、古着の布アートと写真を組み合わせて作った還暦祝いの記念品。左手前は、古着で作った手作り知育玩具。右は、子供が描いた絵画を布アートで再現した作品。

ブランド名は「WhiteRabbit」。まず着手したのは、作品を作る「ものづくりパートナー」となる縫製・造形技術者の確保。インターネットを使って全国から募集した。現在、同パートナーは県内外に数名いる。

ビジネスプランコンテストに挑戦

古着をよみがえらせるだけでなく、作り手(ものづくりパートナー)の働く場も創出するこのビジネス。昨年12月には『あきたビジネスプランコンテスト2013』の優秀賞を受賞した。「応募のきっかけは、あきた企業活性化センターの方が背中を押してくれたから。プレゼンを通して経験値を上げることができた。また、受賞をメディアに取り上げられたり、“起業経験者”として起業セミナーの講師として呼ばれたり、さまざまなプラス効果があった。何より、『このビジネスを絶対成功させるんだ!』とあらためて決意できた。本当に素晴らしい経験だった」。コンテストを契機に、営業活動や異業種とのコラボなど販売促進に積極的に励んでいる。



「一生ものになる、家族の記念品を作りたい」と木村代表。布アートを出産や誕生日、入園祝い、結婚式などの記念品、祖父母への贈り物にするのもおすすめです。



布アートは文字も自由自在。メッセージを表現するのも面白い。「結婚式で両親に感謝を伝えるサンクスボードも制作可能。さまざまな表現ができる」。



お客様の要望や希望を細やかに聞き、古着の色や素材を生かしてデザインを考える。同社のホームページでは、さまざまなデザイン事例を見ることが出来る。

株式会社 shiroiusagi company

〒010-0001
秋田県秋田市中通二丁目1-48
仲小路BLD BF1
Tel.090-7065-3343
<http://www.shiro-usagi.com/>